

二七六番

妹も我も 一つなれかも 三河なる 二見の道ゆ
別れかねつる

二七七番

早来ても 見てましものを 山背の 高の槻群
散りにけるかも

石川少郎の歌一首

二七八番

志賀の海人は め刈り塩焼き 暇なみ くしげの
小櫛 取りも見なくに